

部材が腐っていれば、耐震工法は役に立ちません。より安心できるリフォームへ
**越井木材工業の防腐防蟻木材・合板を
木耐協¹が標準品「長寿命の樹²」として採用**

越井木材工業株式会社^Aは、防腐防蟻木材・合板を、木耐協の推奨品「長寿命の樹²」として
2007 年 11 月 1 日販売開始します。

【推奨のポイント】

越井木材工業(株)の防腐防蟻木材・合板が唯一推奨されました。2年間にわたり木耐協による調査・検討が行われ、生産体制、技術開発力や品質管理の高さ、防腐防蟻に関わる歴史を評価されたため、この度木耐協の推奨を受けることになりました。越井木材工業は、防腐防蟻処理技術に歴史があります。電柱、枕木に始まり、木製ジェットコースター、木製構造物など多数手掛けてきました。木耐協の推奨をうけ、今後木耐協組合員や販売協力店へ販売を行う予定です。

私たちは、木耐協推奨「防腐防蟻木材・合板」によるリフォーム耐震補強が広まることによって、木造住宅の耐震工法を最大限に保ち、未永く安心して暮らせる住宅を増やしていきます。

【部材が腐っていれば、耐震工法は役に立ちません】

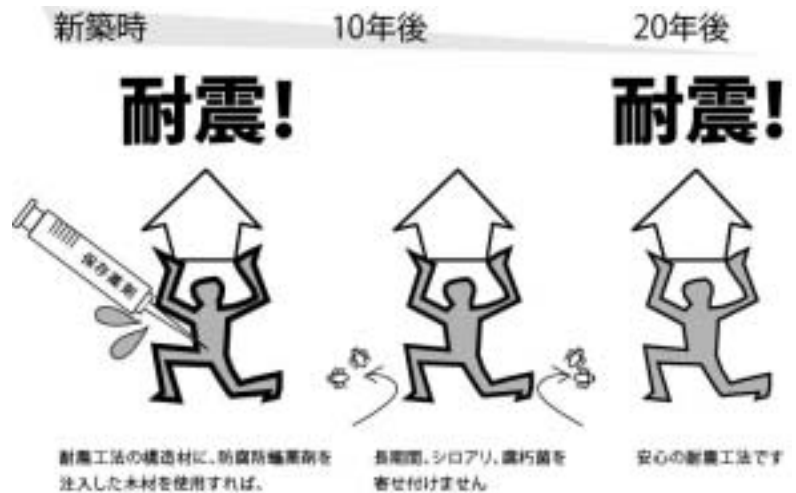
木造住宅において、土台や壁、柱などは、耐震工法をになう大事な主要構造部材です。しかし、構造部材が腐朽・シロアリ被害³にあっていれば、どんなに優れた耐震工法でも役に立ちません。

また、耐震リフォームにより、被害部材を交換しても、従来の薬剤塗布による防腐防蟻処理木材では効果が短いため、再度被害を受ける恐れがありました。

そこで、「長寿命の樹(防腐防蟻木材・合板)」の出番です。これは木材に、腐朽・シロアリ被害を防ぐ保存処理薬剤を加圧注入しています。加圧注入することにより効果が長期間持続します。

壁の中や床下など点検困難な主要構造部材が長寿命の樹なら、腐朽・シロアリ被害による劣化を防ぎ、木造住宅の初期強度を保ち続けます。

耐震工法に「長寿命の樹」
(防腐防蟻処理木材)を使用すると



【耐震に取り組む環境】

建築物の耐震化は緊急の課題であり、国、地方公共団体においても積極的な取り組みがなされています。また、住宅政策においても、住宅ストックの質を高める「住宅の長寿命化(200 年住宅)」声が高まっています。こうしたことを踏まえ、木耐協の取り組みと越井木材工業の技術力により、耐震性の向上と質の高い住宅ストックの形成を図り、消費者へ無理のない負担で安心して選択できる住宅市場の実現を目指しています。

< 本件に関するお問い合わせ先 > **越井木材工業株式会社**

技術開発室: 山口秋生

TEL:06-6685-3180 FAX:06-6685-5537

広報室: 徳野、辰巳

TEL:06-6685-2061 FAX:06-6685-8778

E-mail: info@koshiiwoods.com

URL: <http://www.koshii.co.jp>

< 参考資料 >

A 越井木材工業株式会社 概要

会社名	越井木材工業株式会社
代表取締役会長	越井 健
代表取締役社長	越井 潤
本社所在地	〒559-0026 大阪府大阪市住之江区平林北 1-2-158
TEL	06-6685-2061(代)
事業内容	木材の防腐、防蟻、難燃加工 各種防腐処理木材の製造販売 景観施設、住宅用木製エクステリア、ログハウスの設計、施工、販売など 各種合板の加工、販売 車両用アカシア床材、内装、ドアパネルの製造、販売
設立	1948年(昭和23年)6月1日
従業員数	200名
資本金	3億5百万円
事業所	関東工場、東京事務所、名古屋営業所、中部作業所
関係子会社	株式会社コシイプレザービング、コシナル社(マレーシア)、コシイ・マクセルム・アメリカ社(アメリカ)、株式会社コシイウッドソリューションズ、KMハイブリッドプランテーション社(マレーシア)、コシイ・アカシア・インダストリーズ(マレーシア)、サバ造林株式会社(日本)

1 日本木造住宅耐震補強事業者協同組合 (略称 木耐協)

平成 11 年 3 月、木造住宅の耐震性向上を目指す国内初の団体として、129 社で発足。平成 19 年 9 月現在では全国 47 都道府県の工務店・設計事務所・リフォーム会社 1,026 社が加盟。耐震診断・補強の普及、啓蒙に努めている。

2 長寿命の樹

越井木材工業(株)の防腐防蟻木材を木耐協加盟組合員へ販売する上での商品名。

木材と構造用合板に保存処理薬剤を加圧注入したもの。販売価格は流通している注入前木材価格の 3 割増し程度。

3 木材の腐朽・シロアリ被害

屋根や外壁からの漏水、浴室などの水廻り、結露などによる浸水がおこると、腐朽・シロアリ被害が発生しやすく、建物全体の耐久性を低下させてしまいます。阪神淡路大震災の神戸市東灘区調査によると、全壊家屋の 90%に腐朽・シロアリの被害が確認されました。



腐朽被害状況



倒壊状況

< 参考資料 >

「住宅の耐震性向上」＝「住宅の長寿命化」

近年、宮城県沖・福岡県西方・能登半島・新潟県中越沖等大地震が発生し、首都圏をはじめ直下型地震の襲来を危惧されており、建築物の耐震化は緊急の課題です。国策として、地震による死者を半減するため、平成27年までの10年間に住宅の耐震化率を90%に向上を目指し、地方公共団体においても「住宅の耐震性向上」に関して積極的な取り組みがなされています。

一方人口減少社会が到来し、環境問題、資源エネルギー問題がますます深刻化する中で、これまで「住宅をつくっては壊す」社会から「いいものを長く大切に使う」社会への移行が求められており、住宅政策においても、住宅ストックの質を高める「住宅の長寿命化(200年住宅)」声が高まっています。

土台や柱、合板が防腐防蟻木材なら、腐り・シロアリ被害による劣化を防ぎ、木造住宅の初期強度を保ち続けます

